

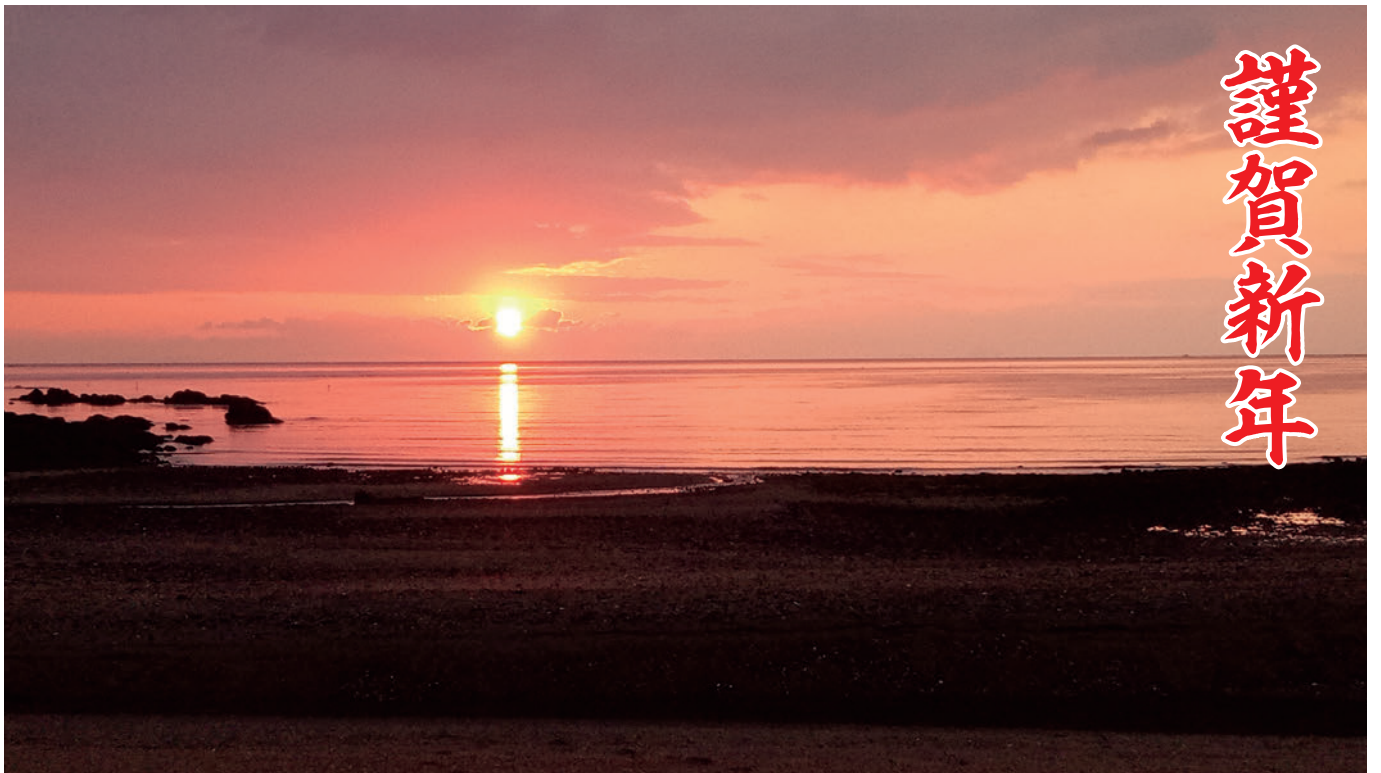
宇部・山陽小野田防災協会

防災だより

《第24号 令和6年1月発行》

■編集・発行：宇部・山陽小野田防災協会

■監修：宇部・山陽小野田消防局



謹賀新年

丸尾原 初日の出 宇部・小野田防災協会職員 石田 里美 撮影

▶2023年度 全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

▶令和5年度 危険物安全週間推進標語

意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ

消防局からのお知らせ

住宅用火災警報器の取付け支援を行っています

(※高齢者世帯などで事前に住宅用火災警報器本体を準備できる方限定)

火災による逃げ遅れを無くすため、特に高齢者世帯への設置を急いでいます!

問い合わせ先 予防課 TEL 0836-21-7599

とりカエル



(つづきは、「とりカエル通信」を検索してみてください!)

会長あいさつ



UBE株式会社
宇部ケミカル工場
執行役員
工場長
雪本和則

令和6年の新春を迎え、会員皆様方をはじめ、関係機関の方々に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、平素より本協会の運営に際し、御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ご存じのとおり1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、非常に強い揺れと津波が北陸地方を襲い甚大な被害をもたらしました。今回の震災でお亡くなりになられた皆様に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、山口県内における危険物施設の火災・流出事故の発生件数は、近年では40件前後と高い水準で推移している状況であり、宇部・山陽小野田消防局管内に

おきましても火災や危険物の漏えい事故が多発しており非常に危惧すべき事態となっております。発生した火災・流出事故等は幸いにも地域周辺に大きな被害や環境に影響を与えるほどではありませんでしたが、危険物はひとたびその取扱いを誤れば、火災、爆発等の災害を引き起こす潜在的な危険性を有していることを肝に銘じて、事業所全体で地震及び風水害を含めた保安対策、事故防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

本協会が、宇部市、山陽小野田市における火災予防や防災に対する普及啓発事業等に積極的に取り組むことができますのは、ひとえに会員並びに関係機関の皆様方の御支援の賜物でございます。地域の安全を推し進めていくためには、火災や危険物に起因する事故等を予見することは難しいことですが、デジタル技術の活用、従業員に対する自衛消防組織及び保安教育の徹底強化に努められ、防火対象物やプラントの安全性・健全性を維持し、安全な操業に繋げていただきたいと思います。

終わりに、会員皆様方のますますの御繁栄と本年が事故・災害のない明るい年になることを祈念申し上げます。まして年頭の御挨拶とさせていただきます。

第6回 防災講演会

著名な講師をお招きして防災講演会を開催することで、皆様方に防災知識の啓発を行い、普段の防災意識の高揚に努めていただくため、防災講演会を開催しています。

今回の第6回防災講演会は、11月21日(火)14時00分から15時35分までの間、ときわ湖水ホールにて「忘れてはならない事業所等の防火防災」と題し御講演いただきました。



講師
Nプラスコンサルティング株式会社
代表取締役 中野 秀作 様



令和5年 火災発生状況

宇部・山陽小野田消防局管内では、令和5年1月から12月までの1年間に75件の火災が発生し、2人の尊い命が失われ、6人の負傷者が発生しました。

火の元には十分注意しましょう。

1 火災発生状況 (件数)

種別	令和5年	令和4年	比較
建物	33	38	- 5
林野	7	6	+ 1
車両	7	7	± 0
船舶	0	1	- 1
その他	28	28	± 0
計	75	80	- 5

2 出火原因 (件数)

種別	令和5年	令和4年	比較
たばこ	5	4	+ 1
こんろ	3	2	+ 1
ストーブ	0	1	- 1
火遊び	0	0	± 0
たき火	23	26	- 3
放火等	3	3	± 0
※その他	41	44	- 3
計	75	80	- 5

※「その他」には、調査中を含みます。(令和6年1月4日現在)

令和 5 年度 消防競技大会

近年は新型コロナの影響で中止が続いておりましたが、今年度 4 年ぶりに消防競技大会を実施しました。

令和 5 年 10 月 11 日(水)、宇部・山陽小野田消防局 消防訓練研修センターにおいて、消火器の部 18 チーム、屋外消火栓の部 15 チームが会場され、日頃の訓練の成果を発揮されました。競技結果は次のとおりです。

(※詳細についてはホームページに公開中)

消火器の部

優 勝 協和キリン株式会社 宇部工場 A
 準優勝 厚和産業株式会社
 第 3 位 株式会社ヤナギヤ



消火活動



優 勝 協和キリン株式会社 宇部工場 A

屋外消火栓の部

優 勝 UBE三菱セメント株式会社 宇部セメント工場
 準優勝 厚和産業株式会社
 第 3 位 UBE株式会社 宇部ケミカル工場 東西地区



第2標的への注水



優 勝 UBE 三菱セメント株式会社 宇部セメント工場

令和 5 年度 先進地視察研修

今年度、4 年ぶりに先進地視察研修を実施しました。

12 月 1 日(金)に日帰り研修でしたが、26 名の参加があり大変有意義な交流の場となりました。



令和5年度 中学校防火・防災作文

防火・防災意識の向上として、今年度も次代を担う中学生から防火・防災に関する作文の募集を行いました。応募作品は8校から432作品あり、1次審査及び2次審査を経て4作品が入賞し、各中学校で伝達されました。
(※作品については、ホームページ公開中)

宇部市教育委員会教育長賞

「もしものために」

宇部フロンティア大学附属中学校 2年 内海 愛希 さん

「雨すごい降ってるねー。」

家の窓から地面に打ち付ける強い雨を母と2人で見ていました。宇部市では今年、過去15年で最も降水量が多い梅雨となりました。大雨の影響で学校が休みになった私は、嬉しくてスマホを片手に宇部市の天気予報を調べていました。私の住む地域にある川は見る見るうちに氾濫危険水位を超え、洪水が起きていました。

私は、こんな経験をしたのが初めてだったため、嬉しい気持ちもある反面、不安な気持ちもありました。この時は無事だったけれど、もしもの時のため、防災の準備をしているのか気になり、母に聞いてみました。すると母は、「そういえば、防災グッズとか何も準備してないなあ。」と、言っていました。私の住む地域では災害なんて滅多に起こらないため、私の家族は防災のグッズを準備する必要がないと思っていたそうです。

しかし、これから先も、災害のような悪いことが起こらないということは絶対にはないと思います。「災害なんて起こらないから」と目を背けるのではなく、大切

な家族や友人、そして自分の命を守るため、いつどこで災害が起きても大丈夫なように防災について考えてみました。

早速私は、地域の消防団に所属している父に、今回の大雨での被害について聞いてみました。すると父は、何枚かの写真を見せてくれました。それは、洪水により、田畑や車、家が浸水してしまった場所で撮った写真でした。その中に1枚、私の家の近くの写真もありました。自分のとても近いところまで危険が迫っていたことを知った私は、やっぱり自分の家が確実に安全であると言いきれないなと思いました。父も、「今まではこんなことがなかったかもしれない。けど、これからもそうとは限らない。」そう言っていました。

父の話聞いた私は、災害が起きた時のため、災害グッズをきちんと準備すること。避難場所の確認や、誰と避難するかなど防災について母と話し合いました。簡単なことに思えるかもしれませんが、この小さな行動が自分自身、そして誰かの命を救うのではないかと私は思います。

まだまだ私は、災害や防災について知らないことばかりです。ですが、「もしものために」身近で簡単なことから自分にできることを見つけ、自分の培った知識で行動していきたいです。

山陽小野田市教育委員会教育長賞

「災害の自分事」

山陽小野田市立小野田中学校 2年 福屋 颯太 さん

テレビやニュースから「想定外の」、「観測史上初」、「経験のない」といった異常気象に関する言葉を聞くようになりました。連日の猛暑日がニュースとなり、熱中症で運ばれる高齢者や豪雨で洪水となった町、台風で数日間足止めされた旅行者、自然災害の山火事で町が焼け落ちるニュースも目にしました。まるで映画のシーンのようだと思って、漠然とテレビを見ていました。台風の進路を見て「自分の住んでいる所には来ないでほしいなあ」と考えて、台風がそれたらラッキーと考えていました。

しかし、僕もこの夏休み、台風6号の影響で旅行に向かう飛行機が欠航になりました。とても楽しみにしていたので、残念に思いました。幸い翌日の便に振り替えることができ、一日の予定変更だけですみました。僕は初めての経験でしたが、自然災害が「自分事」になった瞬間でした。自然災害が起きれば、予定も日常生活も全て変わってしまうことに怖さを覚えました。「台風が自分の所に来なきゃいいな」と思うだけで、これまで何の対策もしていない自分に気がきました。また、災害を受けて困っている人について、考えていなかったことにも気がきました。自然災害を避けることはできません。備えるしかないと思いました。

父や母は、台風前に家の周辺にある鉢植えを屋内に

入れたり、家の植栽をロープで固定したりしていました。話を聞くと、台風の風で植木が飛ばされたりすると、人に当たりケガにつながってしまったり、窓ガラスを割ったりと、二次災害になると言っていました。一人ひとりが災害に備えることで被害は少しでも小さくできると感じました。僕もこの夏、台風対策を手伝い、「備える」を体感しました。

災害を自分事へと意識を変えると、日頃の雨にも怖さを感じました。僕の町でも、局所的な大雨がありました。母と車で買い物に行ったのですが、お店にいた間に大雨が降りました。帰り道は行きと比べて大きく変わっていました。日頃、小さな川のはずが、茶色く濁った激しい流れとなり、今にもあふれそうになっていました。とても怖いと感じました。この感情を忘れないようにしなければと思いました。

一方、この帰り道で安心したこともありました。雨の中、交通規制が速やかにされ、安全な道へ誘導を受けました。僕の住む町に備えがあることに安心を覚えました。災害が命を奪う、日常生活を奪うと、身近に感じられる夏になりました。怖い思いはしたくありません。しかし、災害はいつか必ずやってくると思います。少しでも被害を減らすために、まずは自分にできる準備を進めたいと思います。



宇部・山陽小野田消防局消防長賞

「防災作文」

山陽小野田市立殖生中学校 3年 源島のり佳 さん

災害はいつ起こるか分からない。三十年後、明日、一時間後かもしれない。そんな中、私たちは生きている。私は、大きな地震や津波などは体験したことはない。だが、ニュースなどを見るかぎりすごく恐ろしいものだとわかる。災害が起きた時、家族や大切な人を誰一人失わないようにするためには、防災対策が大切だと思う。

私の家で行っている防災対策は主に二つある。一つ目は、津波などが起きたらどこに避難するかを決めていることだ。私の家は海がすぐ近くにあり、海拔は高いほうだが、海がないところと比べるととても危険なところだ。だから、定期的に地図を見て家族と一緒に確認している。二つ目は、食料を備えておくことだ。水、お米、缶詰、麺類を主に備えている。食料には賞味期限があるので、すでに切れていないか、母とよく確認をするようにしている。以上が家で行っている防災対策だ。

しかし、私の家では防災対策が二つしかできていない。そこで私は、どのような防災対策があるのか調べてみた。調べてみるとたくさん出てきた。その中でも私個人が行えることが三つあった。

一つ目は、家具やガラスの安全性を確保することだ。例えば、突っ張り棒や粘着マットを設置したり、飛散防止フィルムを貼って鋭利な破片ができないようにしたりするなどだ。二つ目は、近所付き合いを大切にしておく

ことだ。話しやすい関係を作っておけば、災害時に助け合うことができるからだ。三つ目は、防災グッズをそろえることだ。食料はしっかりと備えているが、改めて考えると懐中電灯や防寒具などがきちんとそろっていないと思った。だから、これからは、食料と防災グッズをしっかりと確認しておくべきだと思う。以上が、私ができる防災対策だ。

このように、防災対策にはいろいろとある。けれども、家では二つしかできていなかった。これからもっと防災対策をしていくように心がけたい。さらに、家族だけではなく、地域の人々全員が防災対策をし、誰一人失わないようにできることを精一杯行っていく必要がある。例えば、回覧板を届けた時には、防災対策をやっているか聞いてみたり、教えてあげたりしていく。また、火事もとても危険なので、冬には火の元は大丈夫か訪ねたときに聞いてみるのもよい。この心がけを忘れないようにしていきたい。

私は看護師になるという夢をもっている。看護師になっても、患者に防災対策を呼びかけていきたい。起こってほしくはないが、災害が起きて怪我をした人がいたら、誰よりも早く気づき、一人でも多くの人の命を救っていきたい。

防災を通して、たくさんの方が救われ、いつどこで起きるか分からない災害から少しでもみんなが命を守れる地域にしていきたい。



宇部・山陽小野田防災協会会長賞

「台風から命を守る」

宇部市立黒石中学校 3年 飯島 凜姫 さん

台風が来ると、人の死に関するニュースをよく見かけます。豪雨の影響での土砂崩れや、強風によるものなど死因はいろいろあると思います。しかし、台風が来ることは誰もが予測できていることなので、対策さえしっかりすればこのニュースを減らせると思います。

では、具体的に、対策とはどんなことをすればよいのでしょうか。我が家では、主に五つ程度の対策をしています。

一つ目は、非常食の準備です。台風が来たときは、水道やガスなどのライフラインが停止することがあり、日頃使っている食料をいつも通り調理することができない場合があります。だから、火や水を使わずに食べられる非常食が役に立つのです。

二つ目は、浴槽に水を張っておくことです。水道が停止してしまったときに、飲み水ではなくトイレの水や、火事が起こってしまったときの消火用の水として使用できるからです。

三つ目は、窓にガムテープを貼っておくことです。強風で飛んできたものが窓に当たるとガラスが割れてしまい、飛び散ってしまいます。しかし、ガムテープまたは養生テープを窓に貼り付けておくと、ガラスの強度も上がるし、ガラスが割れてしまっても飛び散りにくくなります。だから、けがをする可能性が低くな

るという効果があります。

四つ目は、庭など外に置いているものを倉庫などに入れておくことです。強風でものが飛んでいくのを防いだり、ものが倒れて散乱したりして近所に迷惑をかけてしまうということをなくせます。

五つ目は、明かりやモバイルバッテリーの準備です。夜間に停電が発生した場合に、まず必要となるのは明かりです。例えば、懐中電灯や電池式ランタン、ローソクなどが明かりになってくれます。乾電池の予備も用意しておけば明かりを確保することができます。そして、安否確認や被災状況を知るために必要なスマホ。停電時に充電できるように、モバイルバッテリーを準備することも大切です。

このように、台風から身を守るためには日頃からの対策と台風に関する知識をもっておくことが大切です。自分だけでなく多くの人の命が助かるためには、被災時を想定しての家族や友達との話し合いも必要であると思いました。私は、たくさんの方が台風の危険について理解し、対策をしっかりして不要な外出を控えることで、ニュースで人の死に関する記事を見かけることがなくなることを望んでいます。



令和6年度 各種試験・講習会等御案内

下記の試験・講習会について、宇部・山陽小野田防災協会（宇部・山陽小野田消防局予防課）、または小野田消防署消防予防係の窓口にて受付いたします。詳細については、協会事務局までお問い合わせください。

危険物取扱者試験（前期）

- 試験日 6月15日（土）
- ◎受験地 宇部市・下関市ほか
- 試験日 6月16日（日）
- ◎受験地 山陽小野田市・山口市ほか
- ◆受付期間（※書面申請も電子申請も同じ）
4月5日（金）～4月18日（木）

乙種第4類危険物取扱者試験準備講習（前期）

- 講習日 5月9日（木）
- ◆受付期間
4月5日（金）～4月18日（木）

消防設備士試験

- 試験日 9月8日（日）
- ◎受験地 下関市・山口市・周南市
- ◆受付期間（※書面申請も電子申請も同じ）
7月8日（月）～7月22日（月）

防火管理新規講習会

- ◆甲乙同時防火管理講習
 - ① 6月25日（火）・26日（水） 宇部市内
 - ② 8月20日（火）・21日（水） 宇部市内【予定】
 - ③ 12月11日（水）・12日（木） 宇部市内【予定】
- ◆甲種防火管理再講習
 - 1月22日（水） 宇部市内【予定】

※ただし、予告なく変更になることもありますのでご注意ください。

自己PR

入社後、技術・購買・製造とさまざまな部署に携わってきました。ここ数年は、地震防災専門部会へ所属し事業所内の防災について考える機会を多くいただいています。近くに山陽消防署があることもあり、全従業員で救命講習を受講。防災備品の選定や確認を行ったり地域のハザードマップを事業内へ展開しています。今後さらに防災意識を高めていきたいと思えます。

事業所PR

当社は、日清紡グループ企業として車載部品をはじめとした電気・電子機器部品の設計開発、ならびに電子材料・磁性材料の開発、製造、販売を行っている部品メーカーです。創業当初よりフェライトで培ってきた材料技術に加え、CAE技術も駆使した、製品の設計から量産までの一貫生産が強みであり、安全・安心・便利な社会づくりに貢献できるような熱意を持って日々事業活動に取り組んでおります。

スポットライト②

NJコンポーネント(株) 山陽事業所
製造部(PZ製造) 梶永 美佳 さん



- 座右の銘：ケセラ・セラ
- 趣味：フラワーデザイン・旅行

◇ 編集後記 ◇

消防競技大会や先進地視察研修を実施するなど、ようやくコロナ禍前と同じくらいに協会事業を行えるようになりました。大変喜ばしいことです！一方で、マスクを持ち合わせてなくて慌てて困ってしまう場面もあります。マスクを着用しつつマスクの予備を持ち歩くことが、今でも私の日常です。

◇事務局からのお知らせ◇

宇部・山陽小野田防災協会ではホームページを開設しています。各種行事、講習案内、貸出DVD等について随時掲載し更新しておりますので御覧ください！

◇宇部・山陽小野田防災協会事務局窓口◇

宇部市港町二丁目3番30号 宇部・山陽小野田消防局予防課内

TEL 0836-21-7699 FAX 0836-21-6120

E-mail jimukyoku@ube-sansho-bousai.jp URL <http://ube-sansho-bousai.jp/wp/>

宇部・山陽小野田防災協会

検索